

埼玉県の医療体制の強化を!

救急車「だらいい直し」

医師・看護師不足が原因

一月に救急車から病院への受け入れ要請に応えられず、36回断られて患者が亡くなるという事件が発生。三月にマスコミが一斉に報道して話題になりましたが、同様の事件は以前もあり、消防議会などで日本共産党は再三とり上げ、対策強化を求めてきました。

昨年一年間の久喜消防管内での救急出動は8021回。救急は一刻一秒を争う仕事です。迅速な搬送と適切な処置は、患者の生存率アップとその後の社会復帰率向上につながっていくことができます。

日本共産党は次の課題を提案しています。

- ① 医師・看護師を増やす。
- ② 夜間休日の体制を強化する。
- ③ 救急医療管制システム(注)導入で搬入時間の短縮を図る。
- ④ 救命救急士を増員する。



写真 T.Yさん撮影

空飛ぶタンチョウ

生活保護 引き下げは生活権の侵害 憲法25条の精神守れ

国の生活保護受給者は、2013年現在で215万人になり、過去最高を更新し続けていますが、本来受けられる人の2割しか受けていません。

増加の原因は、高齢者への社会保障改悪と年金引き下げ、非正規や派遣労働などによる収入減とリストラなどです。

安倍政権は、生活保護費を最大で10%を3年間で段階的に引き下げすると

決定しています。「物価下落」「最低賃金と逆転現象」であることを口実にしていますが、デフレ現象はパソコンなどのIT機器や家電品で起きているだけで、生活用品は「物価上昇」です。

生活保護費は憲法25条の「健康で文化的な最低限度の生活を有する」を具体化したものです。今、生活保護費以下の低い賃金で働いたり、低い年金

で生活している現状が問題であり、政府の責任で改善すべきです。

働きたくても働く場がなかったり、病気で働けない実態などは知らせず、わずか2%の不正受給を声高に叫ぶのは、保護費削減が目的に思えます。

削減する前に貧困から抜け出せる仕組みをまず確立することが重要です。

年金切り下げ
介護保険の値上げ
収入なし。どうにかして!

こんどこそ 埼玉から参議院へ 日本共産党比例代表 5人を必ず国会へ



伊藤 岳 (がく)
日本共産党埼玉県常任委員
党県民運動委員長



参議院議員
紙 智子
活動地域 北海道 東北 北関東

参議院比例代表は
「全国ひとつ」政党名で投票

南栗橋液状化対策

宅地部に国の支援を求める意見書 全会派一致に尽力し可決

東日本大震災から3年目を迎えますが、久喜市南栗橋地域はいまだに液状化の不安から抜け出せていません。そんな中「東日本大震災に伴う液状化対策事業の宅地部分に対し国の支援を求める意見書」が全会派一致で可決されました。

意見書の内容は、南栗橋復興にむけ、再液状化の発生を抑制するため、道路などの「公共施設」と「隣接する住宅地等」との一体的な地盤改良事業を早く元の生活に戻れることを願うと同時に、南栗橋の復興は久喜市全体の発展にとっても欠かせないものです。今後被災者の皆さんと共に全力をつくします。

被災者の皆さんが一日も早く元の生活に戻れることを願うと同時に、南栗橋の復興は久喜市全体の発展にとっても欠かせないものです。今後被災者の皆さんと共に全力をつくします。

業を今後実施する際、土地所有者に多大な負担がかかることから、宅地部分の費用について国の支援を求めるものです。

日本共産党は意見書可決に向け、全会派から提出となるよう各会派に賛同を呼びかけ力を尽くしました。